

優秀賞

GUNMA HOUSING
AWARD 2021

土間のある平屋の家

【どまのあるひらやのいえ】

設計者／株式会社 米田横堀建築研究所 施工者／株式会社 津久井工務店



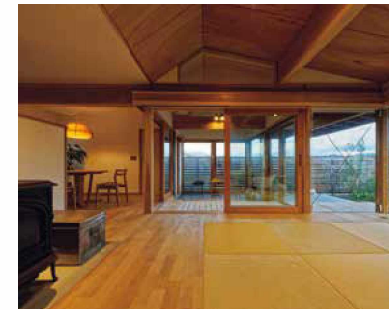
設計主旨 CONCEPT

「親子3人が心豊かに暮らしていけるような家にしてほしい」という住宅を考える上で原点ともいえるご要望から設計が始まりました。自然に関わるお仕事をされ、自然が好きなご夫婦と女の子の家です。3人にとっての心豊かとは何なのか。打ち合わせを繰り返すうちに、家族にとっての自然は単なる環境的な意味での自然だけでなく、むしろ内面において、大切なものを大切に、嬉しいときは嬉しく、悲しいときは悲しいといった感情や人生の転機を自然に受け入れられるような家なのではないかと感じました。

難病と寄り添う暮らし、色んなことが出来る広い土間、心までも温まる薪ストーブの炎、美しい庭、一つひとつをあげればそれぞれが特徴で十分コンセプトといえる要素ですが、それらが集まり組み合わせることで互いに溶け込み自然に関係を持つ、自然とリンクすることで生まれた家です。



平面図



講評 REVIEW

コンパクトながらそつなく纏まったプランとつくり手の丁寧な技量を感じる作品。導入部から玄関へと続く軒下空間がシームレスに繋がることで空間の広がりや奥行きを創出しており、交流の場として優れた雰囲気を感じています。特に玄関を兼ねた土間空間は設けられた仕掛けとともに多様な利用を想起させ、家族相互はもちろんのこと、社会とのコミュニティースペースとして活用できる時を待ちたいと感じました。

周辺との調和を感じる外観は、深い軒がファサードの表情を豊かにしていると同時に日照調整に寄り添っており、また内外ともに木を効果的に用い、落ち着いた温もりを感じる住宅となっています。また、子供室の孤立感やコストなどに対する意見もありましたが、住まい手の身体状態に配慮した動線や、セルフメンテナンスによる愛着の誘因など、総合的に評価が高かった作品でした。

